

令和4年3月17日

保護者の皆様

## 令和3年度 学校評価について

県立串木野養護学校長

春陽の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期末に実施しました学校評価につきまして、結果を御報告いたします。

今年度は、職員の自己評価、保護者のアンケート、児童生徒のアンケートを実施しました。特に、保護者アンケートにつきましては、初めて校務支援システム「See Smile」を使って評価を実施しました。御協力ありがとうございました。回答率が47.1%であったため、今後回答率を上げるべく工夫をまいります。

### 1. 成果【評価「4:十分達成」と「3:おおむね達成」の合計が高かった項目】

職員の自己評価での成果としては、質問19項目の内、11項目で昨年度と比較して、評価「4:十分達成」と「3:おおむね達成」の合計の割合が増えました。特に、テーマ研修については6%増加するなど、GIGAスクール構想を踏まえたICT活用という職員の課題意識に基づくテーマ設定が高い評価につながったと考えます。

保護者アンケートにおいて、評価「4:十分達成」と「3:おおむね達成」の合計の割合が増えたのは、人権に配慮した言葉遣い、コロナ感染防止の2項目でした。特に感染症対策についての取組は、9月の分散登校実施後の評価でありましたが学校の対応に一定の御理解をいただいた結果だと考えます。保護者の皆様の御協力には、改めてお礼申し上げます。

生徒のアンケートにおいて、「学校は楽しいですか。」「学校での勉強は、よくわかりますか。」の問いの回答が100%であったことは、各職員の自信につながりました。これからも、一人一人の言葉を丁寧に聞き取り、気持ちに寄り添った指導に努めてまいります。

### 2. 課題【評価「4:十分達成」と「3:おおむね達成」の合計が80%を下回った項目】

評価「4:十分達成」と「3:おおむね達成」の合計が80%を下回った項目が、職員の自己評価において、進路指導(75%)、業務改善(76%)の2項目、保護者アンケートにおいて、進路に関する情報(77%)、寄宿舎生の生活力の向上(66%)の2項目がありました。

この結果を踏まえて、進路指導においては、小学部段階からの取組をイメージできるような「キャリア教育」を認識したり、学部内の共通理解や他学部の取組を知ることができるシステムの充実を図ったりしていきます。進路に関する情報については、コロナ禍ではありますが、個人面談等の機会を捉えて、保護者の御不明な点や御心配な点などを十分

聞き取り、解決策や情報提供等を進路係と連携して行っていきます。

寄宿舎生の生活力の向上については、保護者の願いを聞き取り支援に生かしてまいります。また寄宿舎での具体的な取組の様子等を発信してまいりたいと考えます。業務改善については、職員の意見を聞き、取組に生かす全体的な取組を進めることで業務改善が進んだと実感できるようにしていきます。同時に、見通しをもって計画的に仕事を進める一人一人の意識の高揚を図りたいと考えます。

### 3. 校内の施設設備について

本校は開校して49年目(来年度は50周年を迎えます。)となり、施設・設備の老朽化への対応について毎年、関係機関に要望を出しております。今年度は、寄宿舎大規模改修5年計画の第4期工事が行われました。また、落雷による大規模な空調設備の故障がありましたが、落雷のため故障箇所の特定制が難しいことや設備自体が古いこと、現在の社会情勢による部品調達の遅れ等もあり復旧に大変な期間が必要となりました。今後は避雷針の設備、空調設備の更新が望まれるところです。

今後も引き続き予算請求し、改善に向けて努力してまいりますので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

本校の取組について御意見・御指導をいただきましたことは全職員にその内容を周知し、配慮すべきことについて指導及び共通理解をしました。貴重な御意見ありがとうございました。今後もお気付きの点がありましたら本校職員にお知らせください。

学校評価の結果につきまして、ホームページへ掲載いたします。



コロナ感染症対策を講じての販売学習



一方向を向いて寄宿舎生の食事の様子